

生協もりやま診療所開院 20周年記念講演

10月10日、守山文化小劇場で生協もりやま診療所開設20周年講演として、東京新聞社会部記者の望月衣塑子の講演会をおこないました。望月衣塑子さんといえば官邸記者会見で何度も質問をし続ける記者として時の人となった方です。

当日はあいにくの雨でしたが、270名もの組合員・地域の方々
が足をはこんでくださいました。講演では「隠そうとすること

を明るみ出すこと」をテーマとして記者を続けるなかでのエピソードを話していただきました。めまぐるしく変わる情勢の中で望月さんのように、これからもたよりになる「生協もりやま診療所」として組合員の皆さんと一緒に大きくしていきたいでしょう。

望月さん公演



大竹先生よりご挨拶



会場の様子

はじめまして
望月衣塑子です！

社会部記者
名前が「森源明太郎」にちなむ。
「何かを作る人、ものを創造していく人になってほしい」(向)
高学歴で取材、本社社会部勤務となり、
「一歩の懸念をスクープ」
「A級以上の成績も(五十万円以下は×)」
「A級以上の成績も(五十万円以下は×)」
「A級以上の成績も(五十万円以下は×)」
●●● ●●● ●●●